

2014年
12月中国四国農政局
徳島地域センター

News Letter

徳島県上勝町にて

環境と経済を好循環させて、元気な町づくりを
～ 上勝町 月ヶ谷(つきがたに)温泉交流施設 ～

「葉っぱビジネス」で全国に名を馳せた徳島県上勝町は町の約86%が山林ですが、林業は、外材の輸入等による木材価格の低迷から生業として成り立たない状況にあり、林業の活性化、豊かな森林資源の有効活用、地域環境の保全は喫緊の課題です。

バイオマス燃料への転換で課題を緩和

このような状況の中、平成16年度から環境省が実施した「環境と経済の好循環のまちモデル事業」をきっかけに、上勝町の月ヶ谷温泉交流施設では、これまで使っていた化石燃料からバイオマス燃料へ転換することとし、木質チップボイラーを平成16年と17年に1基ずつ導入しました。

燃料は、町内の山林から切り出した間伐材や未利用材等を木材チップに加工して使用します。従来のA重油と比べて安価で購入できるため、燃料費が軽減でき、チップ購入代金は地元で還元されるので地域経済の循環が図られます。同燃料の生産によって、森林資源の活用ができ、地元林業の活性、雇用の創出につながっています。



◆上勝町 月ヶ谷温泉交流施設

また、2基のボイラーで、年間約56万kgの二酸化炭素が削減されており、地球温暖化防止の一翼を担っています。

なお、ボイラーから出る焼却灰は、近隣の農家に土壌改良材として無償で提供しており、たいへん喜ばれています。

未来への取組

現在使用している木質チップボイラーはオーストリア製で、同国の樹種の燃焼に合わせた造りであるため、日本に多い杉やひのきの燃焼に適しておらず、しばしばメンテナンスが必要です。

同施設の代表取締役 社長 美馬由実氏は、「日本の木、特に杉の含水率に合わせた、コンパクトで精巧な日本製の機械（ボイラー）の開発、それに、家庭用燃料として木質ペレットを使用できる機械を普及させて欲しい。」と話されていました。

上勝町では、平成15年に全国に先駆けてゼロ・ウェイスト「ゴミゼロ」宣言をしており、未来の子どもに豊かな自然を継承するため、町を挙げて環境問題に取り組んでいます。

◆木質チップボイラー（オーストリア製）
（左：500kW 右：250kW）

◆サイロ

◇木材チップ

上勝町 月ヶ谷温泉交流施設

〒771-4501

徳島県勝浦郡上勝町大字福原字平間71-1

電話：0885-46-0203 / FAX：0885-46-0100

ホームページ <http://www.e-kamikatsu.jp/>

～中国四国あぐりレター「ふるさと元気だより」～

「五色五輪弁当」で地域活性化を

～ J A 名西郡女性部加工グループ～

すばらしいで賞

「J A 名西郡女性部加工グループ」(メンバー6名)は、徳島県名西郡石井町で、毎月第2・4土曜日に J A 名西郡特産品販売所「めぐみの里 石井」の朝市で、地元の食材を活用した巻きずしやいなりずし等の販売を行っています。

同グループは、本年10月、彩り豊かで地元の旬の食材を使用した日常なお弁当を目指し、J A 全中と J A 高齢者福祉ネットワークが主催した「第4回 あなたに届ける J A 健康寿命100歳弁当コンテスト」に参加し、応募のあった218点の中から最高賞である「すばらしいで賞」を受賞しました。

受賞した弁当は、酢めしののり巻きの具にツナ缶、卵焼き、しいたけ、小松菜、ソーセージを使用して五輪色を表現し、おかずは、合いびき肉と地元で採れる枝豆を油揚げに包んだ煮物や揚げた赤パプリカとハムの和えものなど、地元で採れる色とりどりの野菜を使用した「五色五輪弁当」です。

審査では、手で持って食べられる手軽さに加え、東京オリンピックにちなんだ話題性のあるネーミングが評価されました。

同グループ代表の民 千代子(たみ ちよこ)氏は、「今後も地産地消の拡大や新しい弁当の開発に取り組んでいきたい。」としており、名西郡の農家を広く巻き込んでの取組に発展することが期待されます。

(「五色五輪弁当」の販売は行っていません。)



「食育セミナー」開催のご案内

農林水産省は「日本再興戦略」において、食育を国民運動として推進するため、農林漁業体験を経験した国民の割合を5年後に35%とすることを目標として食や農林水産業への理解増進を図ることとしています。徳島地域センターでは、食育や農林漁業体験について、出席者に食育に関する理解を深めて頂くことを目的として、専門家や実践者からの講演などによるセミナーを開催します。

- 【日時】 平成27年1月10日(土曜日) 13時30分～16時00分
【場所】 徳島県立総合福祉センター4階401・402会議室(徳島市中昭和町1丁目2番地)
【内容】 基調講演
「未来にまごころを込め、今こそ正しい食育を」
NPO法人兵庫農漁村社会研究所副理事長(食育研究部 食のVenus担当)
神戸大学大学院農学研究科特命助教 山下陽子氏
事例発表
「CAERUの会の活動について」
徳島大学食育サークルCAERUの会代表 小田彩加氏ほか2名

【問い合わせ先】 徳島地域センター 消費・安全グループ 担当：浦上、清、大野
電話：088-622-6136 FAX:088-655-9136
ホームページ <http://www.maff.go.jp/chushi/press/tokushima/141216.html>



平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

- 農林業経営体調査(平成26年12月中旬～平成27年2月末)
- 農山村地域調査(平成27年4～6月末)

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。



編集：中国四国農政局 徳島地域センター

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL (088)653-2115(内線334) FAX(088)655-4657 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>
各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>